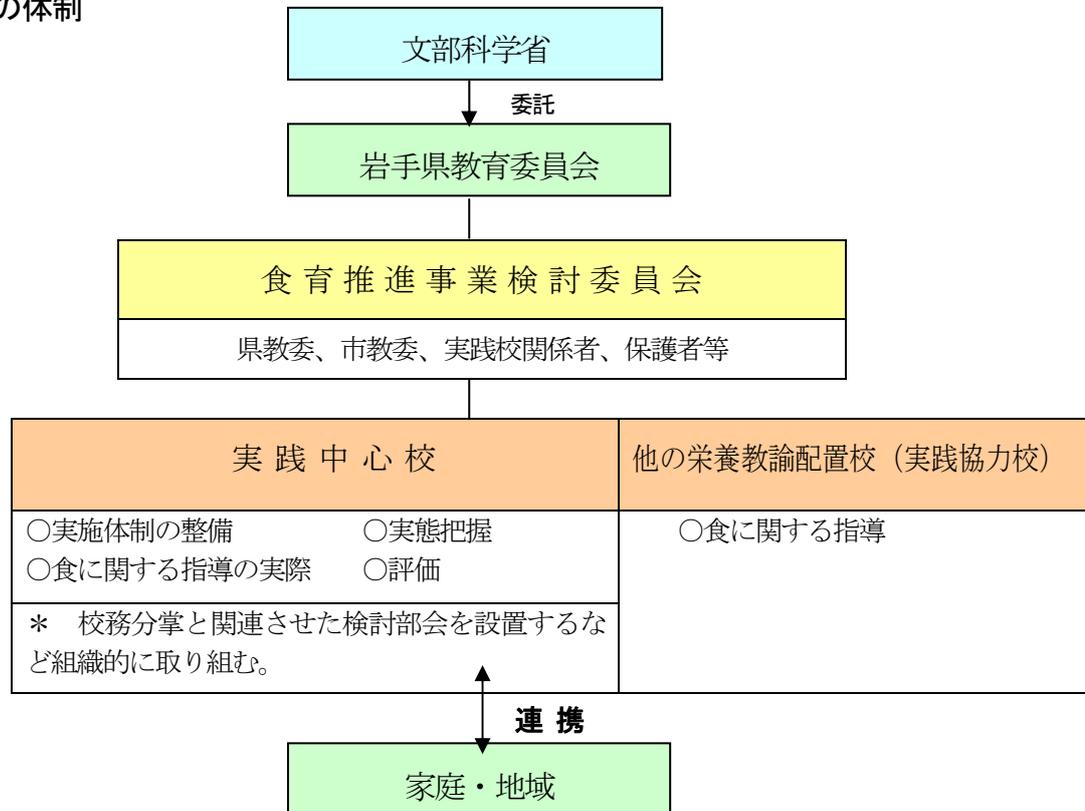


栄養教諭を中核とした食育推進事業 事業結果報告書

都道府県名	岩手県
推進地域名	盛岡市

1. 事業推進の体制



2. 具体的取組等について

テーマ	偏食、肥満傾向児等に対する個別指導を充実させるための方策
<ul style="list-style-type: none"> <検討委員会を組織して全体を把握> <保護者、児童、教職員の意識付けのための取り組み> <実践中心校における取り組み【全体指導】> <実践中心校における取り組み【個別指導】> <実践協力校における取り組み> 	



具体的計画

- <検討委員会を組織して全体を把握>
 - 食育推進事業検討委員会（6、9、2月開催）
 - ア 検討委員 実践中心校教職員、保護者代表、生産者代表等
 - イ 事業方針、計画・推進内容の確認 食育推進における具体的方策の検討

<保護者、児童、教職員の意識付けのための取り組み>

- 1 食育・健康講演会（7月開催）
 - ア 対象 実践中心校5、6年児童、教職員、保護者等
 - イ 演題 「子どもの生活習慣病について」
- 2 職員研修会（6月、10月開催）
 - ア 学校医による講話 「子どもと健康」
 - イ 教育相談担当指導主事による講義
「個別相談を効果的にすすめるために」



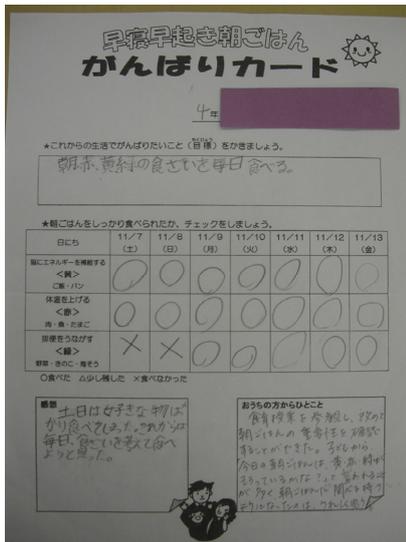
<実践中心校における取り組み【全体指導】>

1 学級活動における食に関する指導

学年	時期	題材
1年	12月	好き嫌いしないで何でも食べよう
2年	6月	よくかんで食べよう
3年	9月	カルシウムのはたらきを知ろう
4年	7月	おやつについて考えよう
5年	10月	朝ごはんを食べよう
6年	11月	自分の身体を考えて食べよう



授業は、保護者に呼びかけて公開授業とした。



←4年生「朝ごはんを食べよう」のワークシート

<児童の感想> わたしは、朝ごはんは、嫌いなものは残して学校に
来ていました。私が残しているものは、排便を促す食べ物だったの
で、うんちが流れていなかったと思います。なので、好き嫌いなく
朝ごはんを食べたいです。

<保護者の感想> 今まで、あまり食材について意識した事がなか
ったので、メニューを考えるうえでとても参考になりました。母と
しては、もう一品（おひたしやサラダなど）が必要なのかなと反省
しました。
早寝については、お風呂や夕食の時間をもう少し早めてあげな
ければと思いました。

2 「給食のきまり」を確認した給食指導

- 食の細い子、偏食の子には食べられる量を盛り付ける。
- お皿に盛られた給食は、残さず食べる。
- 副菜や汁ものの複数の具から、嫌いなものだけ戻さない。
- 嫌いなものでも3口は食べる。
(3口は、食べ物への感謝、生産者への感謝、調理した人への感謝)
- 給食時間の会話は楽しい会話（「おいしくない」「嫌い」などの否定的な会話はしない。）
- 担任は、できるだけ食や栄養に関する話をする。

3 給食内容の充実

給食内容	ねらい
セレクト給食	食への意欲・関心を高め、食品を選択する能力を育てる
かみかみ給食	よくかむことを意識させ、実践させる
岩手の郷土料理	地域の食文化や地場産物の理解を深める
いものこ給食	地域の食文化や地場産物の理解を深める

先人ゆかり給食	郷土の先人について給食を通して理解を深める
行事食（子どもの日、七夕、節分、ひな祭り等）	食文化や行事に関わる歴史等の理解を深める



「おいしい話」の掲示



栄養教諭、担任外による個別な声かけ

4 食材の生産者を招いての招待給食



＜児童の感想＞佐々木さんのお話を聞いて、私たちははともしあわせな物を食べているんだなと思います。今までスーパーで「地産地しよう」という言葉をたくさん見てきました。でもそれをあたりまえのことだと思っていました。でもそうではなく、ふつうにスーパーに「地産地しよう」という言葉があるのはしあわせだということがわかりました。

5 いきいきキッズの生活習慣チェック



6 食育関係通信の発行



7 夏休み親子料理教室



8 食育ジュニアサポーターの育成（冬期間の運動量の確保）

